

令和7年度愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い 教育長あいさつ

〔令和7年8月7日（木）
愛媛県生涯学習センター〕

本日、県内各地から多くの皆様をお迎えして、令和7年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」を開催できることを心から感謝申し上げます。

また、御参会の皆様方には、平素より、それぞれのお立場から子どもたちに寄り添い、温かく見守り、健やかな成長のために御尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、近年、急速なデジタル化の進展に加え、ライフスタイルや価値観の多様化など社会の変化に伴い、家庭や地域でのつながりや支え合いが希薄化する中、子どもたちの体験活動の不足や家庭の経済状況に起因する体験機会の格差が課題となっております。

このため県では、「愛媛県教育振興に関する大綱」において、「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、全ての子どもたちが地域に愛着を持ち夢の実現にチャレンジができるよう、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを進め、魅力ある教育環境の整備に取り組んでおり、地域と学校が連携して学習活動や体験活動を提供する「放課後子ども教室」や「土曜教育活動」をはじめ、保護者への学習機会や情報の提供を行う「家庭教育支援」など、市町等と連携して地域の実情に応じて実施しているところです。

こうした中、本日の「集い」は、教育という枠組みを越えて、子どもたちの成長に携わる多くの皆様が一堂に会し、子どもたちを取り巻く様々な問題を共有し、学校・家庭・地域が連携・協働した取組を一層推進することを目的としており、地域の大人一人ひとりの力を結集することにより、全ての子どもたちの愛(え)顔(がお)を育む契機となることを願って開催するものであります。

本日は、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン代表理事の今井 悠介（いまい ゆうすけ）様に「すべての子どもに体験の機会を～体験格差の課題と解消に向けた取組～」を演題として御講演をいただくとともに、分科会や模擬出前授業を通して、情報交換等を行うこととしておりますので、それぞれのお立場や経験に基づき、様々な視点から活発な御協議をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本日御参会の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。